

# ほ ほ え み

桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
 電話番号 0277-44-7171(代) FAX 0277-44-7170  
 URL <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



## 小児救急の現状について

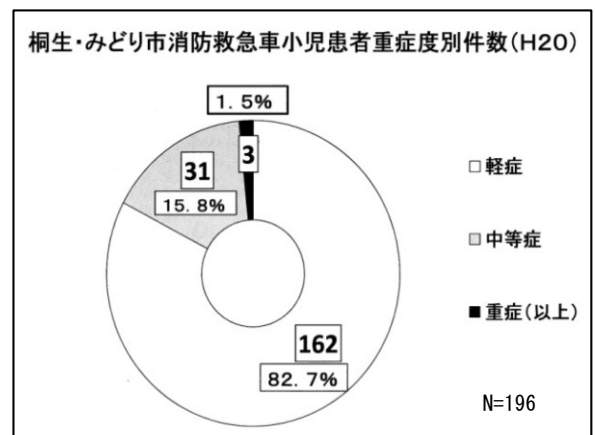
副院長 竹内 是光 (たけうち はるみつ)

重症度を基に医療を分類すると、外来を中心とした比較的軽症な一次医療と、入院が必要となる二次医療、高度高次な医療である三次医療にわけられます。

当院は、主として二次医療を担っていますが、分野によっては三次医療も提供しています。本来病院の当直医師は、入院患者の急変のために当直をしています。当院小児科にはNICU(新生児集中治療室)がありますから、小児科医師は365日NICU内に当直し、原則としてNICU内の仕事以外できない規則になっています。また、土・日・祝日には、小児科一般病棟に別の当直医師もいますから、当院の小児科医師は月6-8回の当直をしています。基本的に土曜・日曜は24時間連続で勤務していますから、もし半日を1回と数えれば、実は8-10回の当直回数になるときもあります。幸いなことに、今年一人後期研修小児科医師が就職しましたが、小児科全体の忙しさは変わっていません。また当院の小児科NICU入院患者数も増加するとともに、産科救急患者が太田・館林・伊勢崎方面からも増加し、分娩数も15年間で2倍になり、産科医師も一人増員されました。もともと東毛地域の人口当たりの勤務医師数は群馬県内で少ない中で頑張ってきました。この状況の中で、2009年4月から、館林地域には常勤の小児科勤務医がいなくなっており、東毛地域を挙げて皆で対策会議を重ねています。

通常、一般の外来患者の90%は軽症で、入院が必要な患者は2-3%前後といわれています。救急車での来院患者さえ、2008年の桐生・みどり市救急車搬送小児患者では83%が軽症でした(図1)。横浜市の全年齢層の救急患者14万人のデータでも、60%は軽症例でした。

(図1)



### 《基本理念》

向学心と優しさに満ちた医療

### 《基本方針》

1. 私たちは、患者さんの人権を守り、患者さん中心の安全で優しさに満ちた医療を行うよう努めます。
2. 私たちは、日々研鑽し、患者さんに良質で高度の医療技術と医療サービスを提供するよう努めます。
3. 私たちは、地域中核病院として、他の医療機関との連携を推進し、地域医療のニーズに応えるよう努めます。
4. 私たちは、地域に密着した医療を提供し、地域住民の厚い信頼を得るよう努めます。

# 子供の救急ってどんなとき？

(図 2)



群馬県では、平成 16 年から小冊子「子どもの救急ってどんなとき？」を作成しました(図 2)。既に 12 万部以上印刷され、どんなときに救急疾患として受診したらよいかが見やすく示されています。当院の総合受付③番カウンターで、10 円で販売しております。なお、群馬県のホームページから見ることもできます。( [トップページ](#) > [暮らし](#) > [福祉](#) > [子ども・青少年](#) > 【子育て】子どもの救急ってどんなとき？)

これ以外にも、日本小児科学会のホームページにも救急時の対応と受診の仕方が具体的に、わかりやすく提示されていますので、参考にしてください。

「こどもの救急」 <http://www.kodomo-gg.jp/>

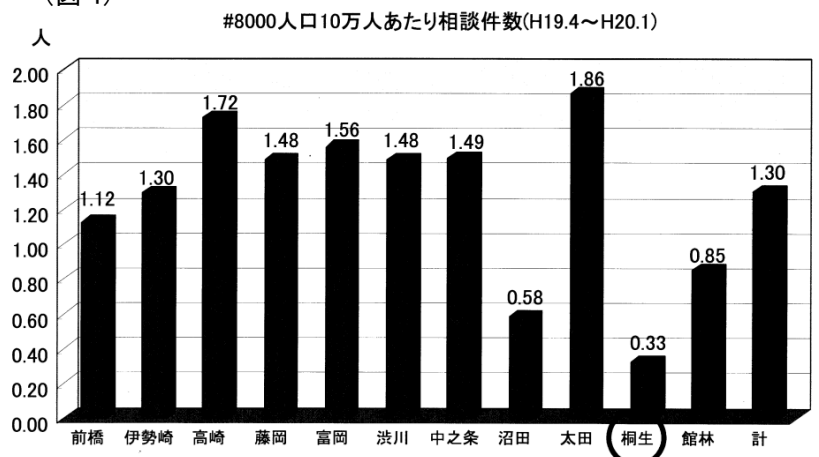
なお、群馬県では救急電話相談事業(#8000)も実施しています(図 3)。実際に小児科医が名乗らずかかってみたところ、「わかりやすかった」とのコメントでした。しかし、県内では桐生地域からの電話が極端に少なく、他の地域の 3-6 分の 1 の利用状況です(図 4)。これを利用するのもよい方法かもしれません。

病院勤務医が少ない中で、なんとか地域の入院医療に従事するすべての医師を確保するためには、住民の皆さんが一体となって行動することが必要です。

(図 3)



(図 4)



当院の平日夜間の救急外来は、

小児科以外の医師が担当しておりますので、ご了承ください。

平日夜間に当院を受診されるお子さんの診療は、内科・外科系の先生方の応援をいただいておりますので、内科・外科の先生方の負担も増加しています。このような状況をなにとぞご理解ください。

当直医師の判断で小児科医の診察が必要と思われる時は、小児科医を呼び出して診察に当たります。(紹介状をお持ちの子供の患者さんについては、小児科医を呼び出して診察に当たります。)

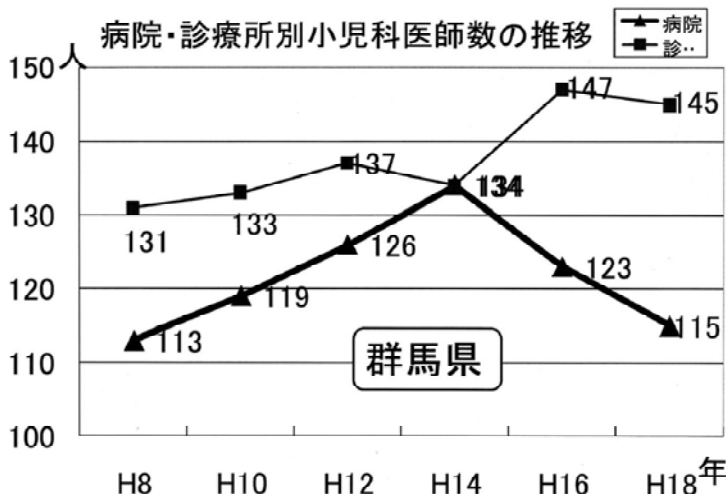
なお、月曜日から土曜日は、夜 7 時半から 10 時半(祝日を除く)までは、桐生メディカルセンター1 階の桐生市医師会の『平日夜間急病診療所』(TEL0277-47-2501)で小児科医の診療が受けられます。





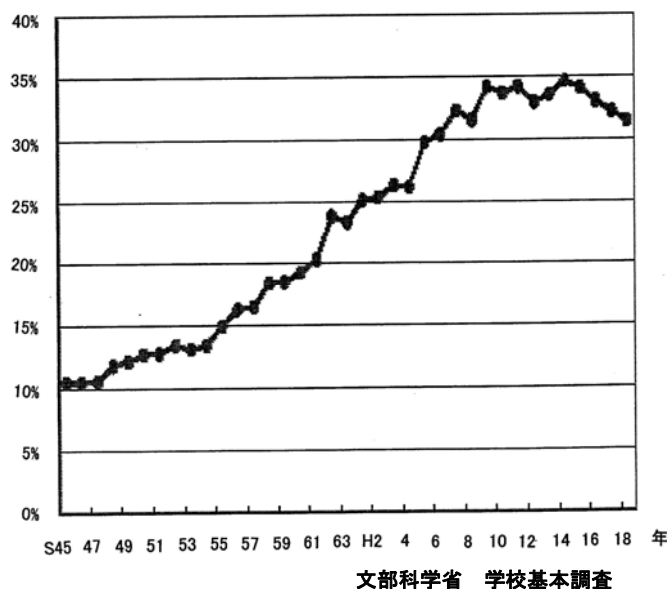
また、群馬県全体の病院勤務医師は、平成 14 年から 16 年を境に、減少の一途です(図 5)。さらに、最近の医学部卒業生の 4 割前後は女性です(図 6)、群大医学部の平成 21 年度入学者の約半数は女性です。女性医師が勤務を続けられるように、保育所等の整備にも努めなければなりません。病院医療は、水道、ガス、電気などと同じように社会的インフラストラクチャー(財産)です。病院を働きやすくし、開業医師との連携を密にし、地域の医療を確保することで「安心・安全な街」になれるのです。ぜひ市民の皆さんにも参加していただき、共に医療を守り充実していきましょう。

(図 5)



(図 6)

医学部入学者数に占める女性の割合



## 認定看護師の活躍

新生児集中ケア認定看護師

あかいし ようこ  
赤石 洋子

新生児未熟児センターは、NICU(新生児集中治療室)とGCU(回復期治療室)にわかれています。NICUは、生まれて間もない赤ちゃんのための救命救急センターです。出産予定日より早く生まれたり(早産児)、小さく生まれたり(低出生体重児)、何らかの治療が必要な赤ちゃんが入院しています。GCUは、集中治療から脱した赤ちゃんや、退院が近い赤ちゃんのお部屋になっています。現在、女性の出産年齢が高くなりつつあります。また、生活環境の変化から不妊治療を受ける方が増えています。その結果として、低出生体重児や双子以上の赤ちゃんの出生が増加しています。



群馬県内には、現在4名の新生児集中ケア認定看護師がおり、入院直後からの急性期の赤ちゃんを対象として、専門的な看護ケアを提供する役割を持っています。

主な役割として

1. 言葉で気持ちを伝えることの出来ない赤ちゃんの反応や変化を見逃さないよう、一人ひとりにあわせたきめ細やかなケアを提供しています。
2. 赤ちゃんを離ればなれとなったご家族の気持ちを支えるケアを行っています。
3. 看護スタッフからの相談を受け、赤ちゃんにあわせたケアをスタッフとともに考え、より良いケアが提供できるように指導し取り組んでいます。

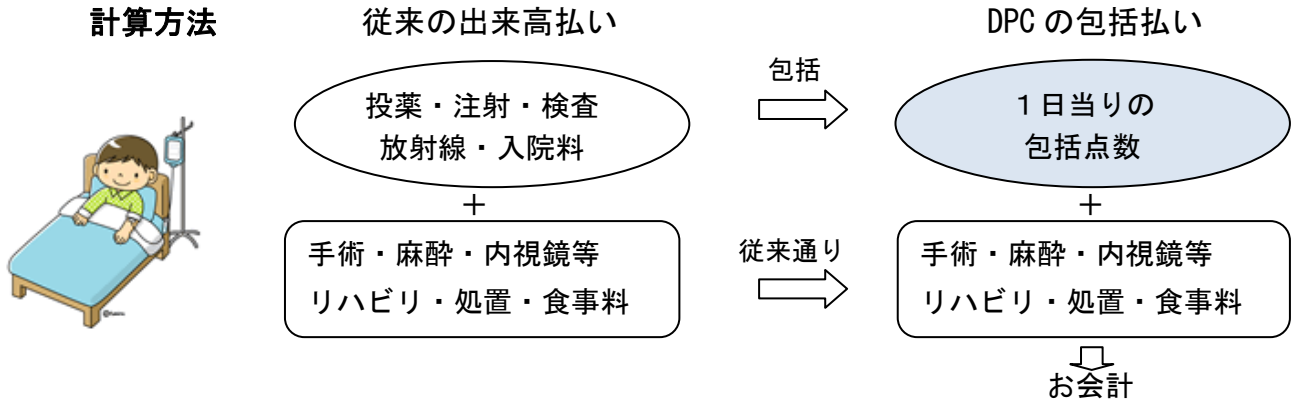
新生児一人ひとりを尊重し、赤ちゃんやご家族にとって優しい医療・看護を目指し、医師・看護師一同、全力を尽くしています。



# 入院費用についてお知らせ

平成21年7月1日以降に入院される患者さんから、当院の入院医療費の算定方法が、「診断群分類による診療費包括請求制度（DPC）」に変更になります。

DPCとは、診療行為ごとに医療費を計算する従来の出来高払い方式とは異なり、患者さんの病名や診療内容に応じて、厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数を基本に医療費を計算する方法です。



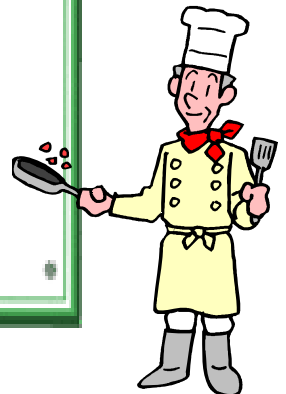
※ご不明な点や詳細については、入退院受付10番へお気軽にお問い合わせください。

## 8階レストラン営業開始！

4月、5月と2か月間にわたりレストランが閉鎖となり、入院患者さんのご家族を始め、来院した方々に大変なご不便をおかけいたしました。

当院では、次期経営者を一般に公募し、再開に向け改修工事等を行い、6月3日(水)に『いっちょ 桐生厚生病院店』として、開店の運びとなりました。ご利用の程よろしくお祈いします。

メニュー	
日替り定食 A	880 円
〃 B	650 円
カレーライス	580 円
もりうどん	480 円
ドリンクバー(7種類)	250 円
など約 60 種類	



※営業時間 午前10時30分～午後7時(土・日・祝日も営業いたします)

## ホームページに有料広告を募集しています

当院ホームページには、月1万件近いアクセスがあります。ホームページ上に掲載する企業や事業所の有料広告(バナー広告)を募集していますので、有効な広告媒体としてご利用ください。

なお、業種や広告内容により掲載できないものもありますので、詳しくは、ホームページに掲載してあります「取扱要綱」や「取扱基準」でご確認ください。

【申し込み・問い合わせ先】 桐生厚生総合病院・企画財政課  
 TEL : 0277-44-7172 (直通) FAX : 0277-44-7170  
 Eメール : [kikaku01@kosei-hospital.kiryu.gunma.jp](mailto:kikaku01@kosei-hospital.kiryu.gunma.jp)

健康チェックしてみませんか？

## お手軽けんさ



中央検査部技師長 竹内 満喜子  
たけうち まきこ

皆さんは、「身体に異常は感じないけれど大丈夫なのかな？」と思ったことはありませんか？  
病気によっては、痛みやしびれなどの症状がなく病状が進行してしまう場合もあります。常日頃から自分の身体は自分で守る意識を持ち、健康状態をチェックすることが大切です。市町村健診や職場健診は、検査項目が限られてしまい、自分の気になる項目を検査することができない場合もあります。

当院では、皆さんに自分が調べたい検査を気軽に受け、日頃の健康管理に役立てていただくことを目的として、4月から「お手軽けんさ」を実施しています。ぜひ、この機会に自分の健康状態を調べてみてはいかがでしょうか？

「お手軽けんさ」の受付は、平日午後1時～4時の間で2F健診室で行っています。

受付、会計終了後検査（採血）を行い、検査結果を3日以内に郵送します。また、1時間程度お待ちいただければ当日中に結果をお知らせすることもできます。

詳しくは、病院ホームページやパンフレット（採血室、正面玄関パンフレットコーナー、健診室等で入手できます。）をご覧ください。

### 「お手軽けんさ」メニュー

- |  |   |
|--|---|
| ★標準セット(健康チェック) 2,100円<br>全身の状態を知るための血液検査15項目と尿検査。            | ★アレルギー検査 1種類 1,400円<br>3種類 3,700円<br>5種類 6,000円   |
| ★糖・脂質セット(たべすぎチェック) 1,700円<br>血糖、ヘモグロビンA1c、善玉・悪玉コレステロール、中性脂肪。 | スギ、ダニ、ミルク、卵など32種類のアレルゲンの中からご自分で選んでいただきます。   |
| ★貧血セット(お疲れチェック) 1,800円<br>貧血の程度や原因を調べるための血液検査6項目。            | ★前立腺検査(T-PSA) 2,100円<br>前立腺がん、前立腺肥大を調べる検査。トイレが近くなったと感じる方はぜひ！  |
| ★肝機能セット(飲みすぎチェック) 1,400円<br>肝臓の働きを調べるための血液検査8項目。             | ★腫瘍マーカー検査 各々3,150円<br>3種類のセットを用意しました。<br>・CEA, AFP, CA19-9: 胃がん、大腸がん、肝臓がんなどで異常を示すことが多いセット。<br>・CA-125, SCC, CEA: 子宮がん、卵巣がんなど婦人科系のがんで異常を示すことが多いセット。<br>・CEA, CA19-9, SCC: 肺がんなどで異常を示すことが多いセット。 |
| ★肝炎検査 2,500円<br>B型・C型肝炎の感染の有無を調べる検査。                         | ★頸部血管エコー検査 5,900円<br>超音波で血管の動脈硬化性病変を調べます。   |
| ★血液型検査 2,100円<br>ABO血液型・Rh(D)血液型。                            | ★ABI検査(足・上腕血圧比) 3,100円<br>閉塞性動脈硬化症などがわかります。   |
| ★便潜血検査(2日分) 1,000円<br>便に血液が混じっていないかを調べる検査。大腸がんの早期発見に有効です。    | ★ヘリコバクターピロリ菌検査 3,800円<br>胃がんの原因とされるピロリ菌の有無を調べます。  |
| ★甲状腺機能検査 1,400円<br>20～40代の女性に多い甲状腺機能異常を調べます。                 |   |
| ★骨密度検査 1,600円<br>骨粗しょう症を調べる検査。器械に素足を乗せて5分ほどで検査できます。          |   |

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)